

平成30年度第1回 都市農村交流セミナーを開催しました！



基調講演



取組事例紹介



トークセッション

1. 趣旨

近年、都市住民や訪日外国人観光客を中心として、地域の自然や文化、農山漁村の生活を身近に体験できる都市農村交流への関心が高まっています。

本県ではこれまで、「農家民泊」をテーマに研修会を開催してきましたが、今回は農業体験農園や直売所、農村ワーキングホリデーといった農家民泊以外の多様な都市農村交流の形を知るきっかけおよび県内における都市農村交流の受け皿づくりを目的として、本セミナーを開催しました。

2. 日時および場所

日時：平成30年8月21日（火） 13:30～16:30

場所：和歌山県民文化会館3階 特設会議室

3. 参加者

行政関係者、都市農村交流実践者など約70名

4. セミナー内容

和歌山大学観光学部長の藤田 武弘 氏が「観光をめぐる新たな動きと地域農業の活性化」というテーマで、日本型グリーン・ツーリズムの特徴や都市との交流をきっかけとした農山漁村の変容などについてご講演くださいました。

その後、県内で先進的に都市農村交流に取り組んでいる3事例について、下記の方々から取組をご紹介いただきました。

- ・ 農業体験農園について JAわかやま営農生活部長 山本 敏生 氏
- ・ 旅行会社と連携した消費者交流について JA紀の里営農部長 下田和 敬二 氏
- ・ 農村ワーキングホリデーについて 善兵衛農園 井上 信太郎 氏

最後に、上記の皆様にご登壇いただき、「都市農村交流を通じた新たな農業経営のカタチ」をテーマとしてトークセッションを行いました。会場の意見を交えながら、都市農村交流のプレイヤーをいかに増やすか、そこに行政がどのように関わるのかなどについて、活発な意見交換が行われました。